

多文化共生社会に向けた レインボーフェスティバル開催への道

勝浦ゼミナール I・II 上間

1.概要

2022年10月1日、埼玉県川島町にあるカインズモール内で『レインボーフェスティバル～世界が川島（ここ）に～』が開催され、のべ5300人が来場した。主催は川越都市圏まちづくり協議会（川越市・坂戸市・鶴ヶ島市・川島町・毛呂山町・越生町）、共催として埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）、城西大学経済学部勝浦ゼミナールが参加。勝浦ゼミナールは交流事業運営事務局である川島町と協力し、フェスティバル全体の運営を担当した。

フェスティバル会場内のテントやキッチンカーは、ブラジルやキューバ、イタリアなど11か国のグルメやドリンクの販売。また、協議会を構成している6市町の特産品のお菓子やドリンクも販売し、世界のグルメだけでなく日本のグルメも楽しめる出店内容となった。

特設ステージは、6市町のゆるキャラの登場やご当地ヒーローショー、パラグアイアルパの演奏、アメリカンポップス、ベリーダンス、カポエイラなど国際色豊かなステージになった。



開会式の様子



テントで販売されていた
ソーセージ



地元の特産品も販売

2.目的

勝浦ゼミナールは多文化共生をテーマに、様々な地域課題を地域の主体の連携によって解決を試みる実践的プロジェクトに取り組んでいる。

勝浦ゼミナールが掲げるテーマがレインボーフェスティバル開催目的に即していることもあり、今回はゼミの活動の一環として、川越都市圏まちづくり協議会が主催の『レインボーフェスティバル～世界が川島（ここ）に～』に共催という形で参加した。



出店者さんと記念写真



ステージの様子



ミニステージで
ヒーローと写真撮影



3. 事前の活動

- ①川島町の方と会場の下見
- ②ステージ出演者・テント出店者との打ち合わせ
- ③消防署・保健所との打ち合わせ
- ④ステージ出演順の決定
- ⑤出店テントの配置決定
- ⑥ミニステージの打ち合わせ
- ⑦特設ステージ・開会式の台本作成
- ⑧広報活動のためラジオ出演

など



会場の下見



出演者、出店者との
打ち合わせ



ラジオにも出演



ステージ設営の補助

4. フェスティバル当日の動き

- ①ステージ・テント・会場設営補助
- ②ステージの司会進行
- ③会場の受付にて来場者対応
- ④送迎バスの案内
- ⑤イベントステージの進行
- ⑥会場内の見回り、ごみの回収

など



テント前の来場者の様子



キッチンカーでの出店



ステージの締めは
みんなでサンバ



フェスティバル後の
記念写真

5. 最後に

勝浦ゼミナールとしては数年ぶりの大型イベントの運営だった。ゼミ生間での連携が上手くいかず活動が順調に進まないこともあったが、勝浦先生や川島町の職員の皆様など様々な方々の協力もあり、フェスティバルは大きな成功を収めることができた。
今回のレインボーフェスティバル運営を通して、国籍や民族、文化、世代問わず多くの人々が繋がれお互いの文化に歩み寄ることが、多文化共生社会において必要なことだと強く感じた。

